

九州朝陽会報

平成十九年七月一日発行 第三号

「しつけ改革」なくして

「教育改革」なし

石井幸孝(新三回)

元JR九州会長

今、「教育改革」が叫ばれている。日本の学校教育に問題があり、見直す必要があるのも、その通りだと思いが、もつと問題なのは、0歳から5歳まで、特に幼稚園入園以前の0歳から2歳までの子育て教育、「しつけ教育」の国民的理解が希薄なことである。就学前の「しつけ教育」をみている役所は無いし、小学校以降の教育制度や、方法論ばかり議論してよいのか。

学力低下があるからゆとり教育を見直すとか、いじめ対策を講ずるとか、命を大切にす教育、いわばこれらは対症療法であつて、就学前の子供の基本しつけができていなければ、いくら良い教育を提供しても受け入れられない危険がある。まさに「三つ子の魂、百まで」である。人は「教育する」のではなくて、「育つ」のだ。

教育問題を政争の道具としてはいけないし、省庁の権限の枠にこだわってはいけない。政治家も政府ももっと広い視点で、就学前幼児の「しつけ改革」を強く意識しなければいけない。

日本も嘗ては、幼児の「しつけ教育」を家庭、社会で重要視してきた。その延長線で学校教育もあつた。親、先生、年上の人を大切にす習慣を体感的に幼

児期につけなければ、人は育たない。そうしないと、家庭、学校、社会のコミュニケーションも壊れる。今の日本社会の抱えている「病」だ。

戦後アメリカ文化が生活に入ってきたが、欧米でも幼児のマナー教育は家庭の責任だ。「人に迷惑をかけてはいけない」「これがマナーだ」と、親はわが子にそれだけはきびしく教える。そういう児童になつて学校に通いだす。学校のコミュニケーションもおのずと守られ、友人関係、先生に対する尊敬の念も備わつてくる。マナーを守ることで、子供それぞれの個性も尊重される。

お隣の韓国でも、両親、先生、年上の人を大切にすという、人としての教育は国民的文化だ。幼児との会話でも、親子と子供同士の言葉遣いが違うことを教えていく。日韓交流の日本人「お笑いコンビ」が韓国で、母親を小ばかにしたような、お笑いトークをしたら、誰も笑わないどころか、若い女性から注意されたそうである。

この国では親が学校の先生に文句をいうなどという事は考えられない。地下鉄やバスでも、自分より年上の人を立てていたら、そちらに席を勧め、自分は座らない。

どこの国でも幼児の「しつけ教育」には熱心だ。それによって、良い学校教育も始まり、個性ある心強い子供も育つ。家庭・学校・社会の健全なコミュニケーションもできてくる。

国と民族の将来にとって、先ず人間の最初の育て方が重要課題だ。政治家の利害や役所の責任分野から離れた、発想の転換をして、国民的課題とすべきである。「しつけ改革」なくして教育改革」なしである。

事務局からのお知らせ

会員の異動

五月末日現在で、事務局に連絡のあつた会員の異動は左記のとおりです。尚、それ以外で異動がありましたら、早めに事務局へご連絡ください。

退会

小林 政記(新18回) 東京転勤移住

平岡 啓(新28回) 東京転勤移住

地域外会員に変更

岡本 稔(新14回) 君津市転勤単身赴任

諫山 忠則(新19回) 東京転勤単身赴任

住所変更

森 重夫(新10回) 福岡市内転居

右詳細については、事務局にお問い合わせください。残念ながら岡本さんは幹事を辞任していただきました。

今年度総会

今年度の総会は来る10月27日(土)に福岡市内にて開催いたします。

詳細については、9月末に連絡しますので、皆さんお誘い合わせの上、多数の参加を期待しています。

年会費納付の件

現在86名会員のうち80名が納付済みですが、6名の方が未納です。今回も未納者の方へは振替用紙を同封いたしますのでご協力ください。

尚、今年度総会までに納付されない場合は、残念ながら退会の意志と認め、今後の諸連絡はいたしかねますのでご了承ください。

朝陽HPの案内

5月初旬、当「九州朝陽会報」が、朝陽HP

の「支部だより」欄に掲載されました。小山幹事、本部事務局のご尽力によるもので、その意図は、会員外の九州に関わりのある同窓生の関心を呼び、九州朝陽会がより多くの同窓生の集う組織となることに他なりません。ついで折にご一覽下さい。

幹事長記

編集後記

3号の発行までに期待していた会員からの寄稿がかなわず、お忙しい石井会長に、無理を承知で寄稿をお願いしました。

安倍内閣の戦後レジームからの脱却という旗印のもと、憲法はもとより、教育関連法の見直しなどが議論される昨今、まさに時宜を得た御提言を頂きました。

些細なことですが、我々戦時中に幼児教育を受けた世代にとって、日頃目にする、若い人たちの周囲の迷惑を無視した行為(ところ構わぬ座り込み、喫煙、飲食、化粧など)は、まさに「しつけ」の欠落の結果としか思えません。

これをきつかけに、同窓という絆で結ばれたこの会で、多世代の方々のご意見が寄せられることを期待しています。次号発行予定は11月1日。9月末までの寄稿をお待ちしています。

小泉純理(新7回)記

【発行元】

九州朝陽会事務局
〒811-3221
福津市若木台
1-20-7
TEL & ファクス:
0940-43-5545

【事務局長】

E-Mail:
YQR04220@nifty.com
小泉純理